

果樹のカメムシ防除に!



テムスター[®]
フロアブル



®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。

撃退!

カメムシキラー、参上。

		
耐雨性	速効性	残効性
		
ISHIHARA		



ISK 石原バイオサイエンス株式会社

★特長★

幅広い殺虫スペクトラム

果樹・果菜・茶・花のハダニ類、アザミウマ、アブラムシ類、りん翅目害虫に高い効果があります。

汚れが少ない

フロアブルで、しかも高希釈倍率なので、作物表面の汚れが目立ちません。

使用時期の幅が広い

収穫近くまで使用することができます。(果菜、りんご、かんきつなどでは収穫前日まで使用できます)

薬剤調製が簡単

フロアブル化により、粉立ちがなく、薬液調製が簡便です。

★使用上のポイント★

- 1.容器をよく振ってからご使用ください。
- 2.害虫の発生初期に散布してください。
- 3.ていねいに散布してください。(浸透性がないので、薬剤のかかりにくい葉裏にも十分散布してください)
- 4.他剤とのローテーションで散布してください。(抵抗性回避のため、ピレスロイド系殺虫剤の連用はさけてください)

★適用害虫と使用方法★

*ピフェントリンを含む農薬の総使用回数

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	総使用回数*
りんご	シンクイムシ類、ハマキムシ類、キンモンホソガ、アブラムシ類、ギンモンハモグリガ、ハダニ類、カメムシ類、ヨモギエダシャク	3,000	200~700	収穫前日まで	1回	1回
かんきつ	カナタタキ、アブラムシ類	3,000	200~700	収穫前日まで	3回以内	3回以内
	カメムシ類、アザミウマ類、ミカンハモグリガ、ケンキスイ類、コアオハナムグリ、ミカンバエ成虫	3,000~6,000				
	チャノミドリヒメヨコバイ	6,000				
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	4,000	200~700	収穫14日前まで	1回	2回以内 (散布:1回以内、くん煙:1回以内)
おうとう	ハダニ類	3,000~4,000		収穫前日まで	2回以内	2回以内
	ショウジョウバエ類、カメムシ類					
小粒核果類	シンクイムシ類、アブラムシ類、カメムシ類	3,000	200~700	収穫前日まで	2回以内	2回以内
ももネクタリン	カメムシ類、モモハモグリガ、シンクイムシ類	6,000				
	アブラムシ類					
なし	シンクイムシ類、ハマキムシ類、アブラムシ類、ハダニ類	3,000	200~700	収穫前日まで	2回以内	2回以内
	カメムシ類	3,000~6,000				
キウイフルーツ	カメムシ類、クワゴマダラヒトリ	3,000	200~700	収穫前日まで	2回以内	2回以内
びわ	カメムシ類	30				
かき	チャノキイロアザミウマ、カキノヘタムシガ	3,000	200~700	収穫3日前まで	2回以内	2回以内
	カメムシ類	3,000~6,000				
トマト・ミニトマト	オンシツコナジラミ	4,000	100~300	収穫前日まで	3回以内	3回以内
ねぎ	ネギアザミウマ			収穫14日前まで		
なす	アブラムシ類、ハダニ類			収穫前日まで		
きゅうり	アブラムシ類			収穫7日前まで		
エンサイ	オンブバッタ					
茶	チャノコカクモンハマキ、チャハマキ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、カンザワハダニ、チャノホソガ、ヨモギエダシャク	3,000	200~400	摘採14日前まで	2回以内	2回以内
	未成熟とうもろこし	ハダニ類	100~300	収穫前日まで	3回以内	3回以内
	宿根かすみそう	シロイチモジヨトウ				
トルコギキョウ りんどう	ヒラズハナアザミウマ					
ばら	カーネーション	ハダニ類		—	3回以内	3回以内
きく	ミカンキイロアザミウマ	2,000				

使用方法：散布。ただし、びわの30倍(4ℓ/10a)処理は、無人航空機による散布。

⚠ 使用上の注意事項

- かんきつのアザミウマ類への使用にあたっては、ミカンキイロアザミウマでは効果が劣ることがあるので、使用をさけてください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - 1.散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - 2.散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 3.散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 医薬用外劇物につき、取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合は、直ちに医師の担当を受けてください。

- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 畜に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、糞に付着するおそれのある場所では使用をさけてください。
- 本剤の散布の際に着用していた衣服は養蚕作業に用いるものと区別してください。
- 本剤はごく低濃度でも水産動植物に強い影響を及ぼすので特に注意してください。
- 河川、湖沼、海域および養殖池に本剤が飛散・流入するおそれのある場所では使用しないでください。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器等は、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

※ミツバチ、マルハナバチに影響を与えるので十分注意してください。

本印刷物は、2023年7月時点での知見に基づいて作成しています。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。